



Photo by dreamusical

## OCA レポート

2017年10月

## 2017年7月 おにぎりプロジェクト



## World ONIGIRI Friends Project

通称「おにぎりプロジェクト」。

おにぎりは日本のソウルフードです。誰もが一度は食べたことがありますよね！それぞれ好きな具材を入れて楽しむおにぎりのように、関わる人がそれぞれ好きなようにいろんなアイデアを組み込んで、面白いプロジェクトにして行きたいという思いを込めて、このような名前になりました。

## おにぎりプロジェクトはこうして生まれた

はじめまして、プロジェクトの発起人、島林由香と申します。私は去年一年間、アメリカの国際教育団体 Up with People (以下 UWP) に参加しておりました。様々な国に行き、たくさんの人に出会い、特に世界中のホストファミリーと過ごした時間はとてもかけがえのないものでした。自分とは違う文化や価値観を持った人と触れ合うことが、自分の人生に新たな「発見」と「豊かさ」を生む。このような体験を、日本でも！と強く願い、まず一緒に UWP に参加した仲間を日本に呼ぼうと、いろんな人たちにこんな活動をやってみたいと声を掛けることから、プロジェクトは始まりました。

## 準備が大変で、楽しい！

開催場所はすぐに決まりました。日本の中心である「東京」、震災後 2 年間ボランティア活動のため住んでいた思い出のある「石巻」。期間は夏の 7/21～8/3 の約 2 週間。まずは大まかなスケジュールを決め、参加してくれるキャストを探し。時代に乗ってソーシャルネットワークを活かし、日本の卒業生たちにも協力してもらい、UWP で一緒に旅した仲間たちに Facebook で呼びかけをしました。そこで気づいたことは、思った以上に日本に行きたい人がたくさんいることでした。そして、UWP 出身だからか、スケジュールも定かではない、言わば「ミステリーツアー」(笑)に参加したいと興味を持つ強者が、世界にはたくさんいることも分かりました。

キャスト確定したのは結局、プログラム開始の約 1 ヶ月前でしたが、11 名 7 カ国から集まりました。アメリカ 2 名、メキシコ 3 名、ドイツ 2 名、オランダ 1 名、ベルギー 1 名、中国 1 名、スウェーデン 1 名。20～30 歳、なぜか全て女性。

キャストが確定したことでホストファミリーの必要数も明確になり、こちらもプログラム開始 2 週間前に、なんとか東京石巻合わせて 19 ファミリーが集まっていただきました！コモンビートの関係者や UWP 卒業生、友人から進められてという方もいらっしやって、本当にありがたかったです。普段はなかなかホストファミリーなんてできないという方にも参加して頂きたかったので、あえて「英語が喋れなくても可」という募集をしました。言葉だけではなく心でのコミュニケーションを体験することで、温かい繋がりが生まれると体感して欲しかったのです。

## 協力体制が素晴らしかった

初めは一人でやろうとしていた活動でしたが、いつの間にか様々な分野の方々が協力してくれることとなりました。一般財団法人 MRA ハウスには資金面での多大な支援をしていただきました。NPO 法人コモンビートには、ホストファミリー探しの協力や、会計のノウハウなど私の力だけでは足りない部分をたくさん手伝っていただきました。

また、日本でのスタッフも集めました。私が鹿児島に住んでいたということもあり、東京に2名、石巻に2名、そして会計として1名鹿児島で、動いてもらいました。



## プログラムスタート！！

一日一日が濃くて、ここに全ては書ききれないため、大まかにレポートさせていただきます。

まず、どうしても観てもらいたかったコモンビートのミュージカル公演。観るだけではもったいないと、本番直前のコモンビートのキャストたちと対面し、UWP とコモンビートに共通する歌を英語と日本語で歌う素敵な時間を設けてもらいました。おにぎりキャスト達は、自分たちが世界中で歌ってきた曲が、違う国で違う言語でこんなにも親しまれていることに、涙を流して感動していました。その時間がまさに平和で、暖かくて、なんとも言えないパワーを感じたと話すキャストもいました。

友人に講師をお願いして、日本語講座やよさこい体験などいろいろな日本文化を体験してもらい、目まぐるしい東京の一週間が過ぎていきます。



## パフォーマンス

おにぎりプロジェクトで外せないものが、「パフォーマンス」です。音楽を通して様々な交流を生み出したいと考え、キャストによるオリジナルのパフォーマンスを作りました。制作時間はわずか4時間。様々な意見が飛び交いましたが、最終的には「自分たちが様々な国から集まっていること、文化や価値観の違いを乗り越え一つになること、平和への願い」などをテーマに、20分～30分のオリジナルパフォーマンスを仕上げました。UWPの時とは違い、自分たちで全てを作り出すということに難しさもありましたが、それぞれの特技や想いを活かして最高のパフォーマンスを生み出したことに、キャストは大変盛り上がりました。

子供ミュージカルチームとの交流会や、東京最終日に行った50人規模のビッグパーティでも披露し、参加者と共に非常に楽しい時間を過ごすことができました。やっぱり音楽のチカラは凄い！子供たちがキャストに一生懸命英語で話しかけている姿も印象的でした。



## 石巻でのキャストの積極性

石巻では、被災地を廻り、街や人のために活動している方々の話を聞き、たくさん勉強しました。その中で私が感じたことは、キャストたちが非常に積極的に質問をしていたこと。震災の事実は聞いたことがあっても、震災の爪痕を目の前にし、どのように再生していったのか、していくのか一生懸命知ろうとしていました。特に百俵館というところに伺った際、地域のコミュニティスペースを作るにはどうしたらいいかアイデアを出し合おうという企画では、子供からお年寄りまで楽しく出入りできる場所がいい、毎月街の誰かのアート展示会をいたらどうかなど、独創的な意見がキャストの間で飛び交い、百俵館の方もとても喜んでくださいました。



また、地元の大きなお祭り「川開き祭り」に参加したこともキャストにとって大きかったようです。浴衣を来て街を歩いたり、お神輿担ぎに汗をかき、地元の方々と石巻を盛り上げる歌でパレードに出たり！普通の旅行では味わえないローカルな体験ができたと言っていました。

そして最終日、復興公営住宅での交流パフォーマンスを実施。震災の悲しみから立ち上がっていくには、目に見えるものの再生も大切だけど、人と人の繋がりや心の元気を取り戻すことが大切だと学んだキャストたちは、今までで一番心のこもったパフォーマンスを届けたと思います。人が集まるか心配していただけに住民さんにたくさんお越しいただき、その復興公営住宅集会所で記念すべき第一回目のイベントを行うことができました。お越しいただいた方の中で、「最近悲しいことがあってね、今日の歌や踊りで元気が出た。」と涙を浮かべて話してくれた方がいらっしゃいました。とても小さな活動だけれど、誰かの心に届くパフォーマンスができたこと、世界は広いけど近いということを感じていただけたのなら、本当にやって良かったなと思いました。

たくさんの繋がりから生まれた石巻での出会いに、大感謝です！

## 関わってくださった人たちの感想

### ▼東京ホストファミリー：Yさん

初めて外国人と一緒に生活し、言葉だけが大変だったが本当に充実して楽しかった。1週間過ごして本当の姉妹になった気もしたし、ずっと笑顔で過ごすことができた。また参加したい。

### ▼石巻ホストファミリー：Oさん

英語力は関係ない。気持ちが大事。だが、あの人と喋りたいというモチベーションで英語を勉強する意欲が芽生えた。シンググローバル。大人も子供も良い経験。やって良かった！

### ▼キャスト：Aさん

石巻で震災の事に触れるのはとてもつらかったが、悲しみから立ち上がった人たちに感銘を受けた。石巻の人たちは、生き抜いたことで生まれた思いやりの心や希望と共に、輝いているんだと思います。

### ▼キャスト：Sさん

東京も石巻も最高のホストファミリーでした。大好きです！もっと時間が欲しかった。また来ます。

### ▼スタッフ：Mさん

東京での都会感と石巻でのローカルなギャップが良かった。川開き祭り最高！人数バランスと国数、良かった！次やる時は、ホストファミリーの家と集まる場所がもっと近いほうが良い。

### ▼子供ミュージカルの親御さん

年齢、国籍を問わず、みんなが未来のことに対して真剣に考えている姿がとても印象的でした。これからこのような活動が様々な場所で行われて欲しいです。異文化理解が今後どれほど大切なものかを知ることができました。



## 今後の活動はいかに！！

是非とも、続けていきたい活動です！このプロジェクトをきっかけに、もっと国際交流したいと思ってくれたホストファミリーの皆さんや、日本にまた来たい理由ができたと言ったキャストもいました。こういった小さな活動が、その先の世界平和や異文化を認め合える社会を作ると私は思います。

もちろん、ハプニングもいろいろありました。ビザ取得がうまくいかず参加が遅れたキャストがいたり、東京での電車移動が非常に難しかったり(キャストはホストファミリーのサポートのおかげでなんとか毎日頑張ってくれていました！)、スケジュールが盛り沢山すぎて、ゆっくり自由時間が少なかったこと・・・。

私はそれらも踏まえて、大成功の第一回おにぎりプロジェクトだったと思います。次はキャストも変わり、スケジュールも変わり、今回の学びを踏まえてもっと面白いプロジェクトになると信じています。UWPで行っている世界を考えるワークショップをもっとやったり、ホストファミリーを巻き込んだイベントを作ったり、日本と世界を音楽で繋ぐ素敵なプロジェクトに成長していきましょう！

今回関わってくださった皆様、本当にありがとうございました！

次にこの企画をもっと面白くするのは、あなたかもしれない！！！！

また、次回もどうぞよろしくお願いいたします

## おにぎりプロジェクトの日程

7月21日	キャスト来日、ホストファミリーへ
22日	コモンビート東京公演観賞
23日	ホストファミリーデー
24日	日本語講座、習字体験 パフォーマンスの練習
25日	子供ミュージカルとの交流
26日	明治神宮、原宿見学 歓迎パーティ
27日	新宿→石巻 ホストファミリーへ
28日	被災地を見学
29日	石巻でボランティア活動
30日	ホストファミリーデー
31日	石巻復興活動の話を聞く会 灯籠流し
8月1日	振り返り会議 川開き祭りに参加
2日	地元の方々と交流会 石巻→新宿
3日	新宿で解散



## 連絡先

一般財団法人 MRA ハウス OCA 国際交流事業  
 〒106-0032 東京都港区六本木3-15-11  
 ホーマットウエスト440号室  
 電話 03-6441-3182  
 ホームページ：<http://www.mrafoundation.or.jp/>

# 2017 World ONIGIRI Friends Project

## Participants



**Ale**  
Alejandra Hernandez  
Mexico  
Cast B14



**Ellen**  
Ellen Fierens  
Belgium  
Cast A/B16



**Giulia**  
Giulia Hahne  
Germany  
Cast B14



**Jennifer**  
Jennifer Brown  
Sweden  
Cast A16



**Jialu**  
Jialu Pang  
China  
Cast A16



**Jime**  
Jime Silvia Rey  
Mexico  
Cast B14/A15



**Julia**  
Julia Brandes  
Germany  
Friend of Giulia



**Melanie**  
Melanie Jean  
USA  
Cast A16



**Norma**  
Norma Saucedo  
Mexico  
Host Family



**Sam**  
Samantha Mary  
USA  
Cast A16



**Tess**  
Tess Zondervan  
Netherlands  
Cast A16

# 2017 World ONIGIRI Friends Project

## Tokyo Staff



**Mika**  
Mika Tsubota  
坪田 后加  
Cast A13



**Momo**  
Momoko Hoshino  
星野 桃子  
Cast B14/A15

## Tohoku Staff



**Irene**  
Akiko Kawaguchi  
川口 暁子  
CB Tohoku 1



**Dera**  
Akihiro Onodera  
小野寺 昭博  
CB Tohoku 2/3

## Financial Staff Project Leader



**Ai**  
Ai Imai  
今井 藍  
Cast B14



**Yuka**  
Yuka Shimabayashi  
島林 由香  
Cast A16/B16